



絵：筒井由美子さん

東住吉区未来わがまち会議メンバー
区内小学校で永年勤務
校長退職後、現大学講師

文：三原順一さん

東住吉区未来わがまち会議メンバー
東住吉区歴史の道の会会長

杭全法界地蔵尊

お地蔵さんといえば、小さな祠に祀られているものが一般的ですが、杭全町交差点の南東にある『杭全法界地蔵尊』は、あちこちで見受けられるお地蔵さんとは異なります。

まずはその大きさ、坐高が1・2メートル、頭だけで32センチもある、大きくて立派なお地蔵さんです。花崗岩で作られた丸彫りの秀作で、六角形の台石に右足を曲げ左足を踏み下げた半跏座（片足が垂下）と呼ばれる、お地蔵さんとしては珍しい姿をしておられます。

さらに、人々が参拝する所は屋根付なのに、肝心のご本尊は雨ざらしなのです。昔はお堂も無く、雨の日や暑い日寒い日に、村人が見かねて笠や頭巾をかけましたが、すぐ風で吹き飛ばされてしまうので「お地蔵さんは覆いが謙いだ」と解されたとのいわれがあります。

台石の文字によると寛政四年（1792年）三月九日に建立され、当時の祭具には、新在家前地蔵（新在家とは杭全の旧地名）と刻まれています。今は杭全法界地蔵尊とよばれています。法界とは大宇宙を含むあまねく範囲のことで、一切の願いごとを叶えてくれる格の高いお地蔵さんであることを表しています。

近年若い人が受験の前に合格祈願に参詣するようになりました。皆さんも機会がありましたら是非お参り下さい。

